



今、私にできること

コロナ禍の今こそ人々を明るく！まちにくり出す七夕飾りたち

会いに来る七夕飾りメンバー 高橋さやかさん(左)、吉川理香さん(右) ▶

宮城県内の商店街や観光名所などに出没する「会いに来る七夕飾り」が、まちやSNSをにぎわせています。その正体は、花紙で飾られたくす玉を頭にかぶり、吹き流しのドレスを



まとった女性たち。日々更新されるFacebookやTwitterでは、七夕衣装を着た彼女たちが、電車やバスに乗って様々な場所を訪れる様子が公開されています。その姿は、まるで七夕飾りがまちを楽しんでいるようです。中心メンバーの吉川理香さんは、まち歩き企画「仙台ふららん」のスタッフです。「コロナ禍で暗い気持ちの人に、少しでも笑って楽しんでほしい。まちにある魅力や面白さを、七夕飾りたちが歩く姿を通して再発見してもらえたら」と話します。

2020年、「あつて当たり前」だった仙台七夕まつりが、新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされ、「仙台ふららん」の七夕関連イベントも全て中止になりました。寂しさを感じた吉川さんが思い出したのは、仮装衣装づくりが好きな友人の高橋さやかさんが、過去に作った七夕衣装。それを借りて何か面白いことができないか、高橋さんに相談しました。市中心部での祭りは中止されてい

ましたが、市郊外の商店街では、市民手づくりの七夕飾りが多く飾られていたことから、2人は七夕衣装を着て、商店街の飾りをレポートすることに。本来なら七夕まつりの最終日だった8月8日に、3つの商店街を巡り、その様子を動画でライブ配信しました。2021年4月からは仙台市内だけでなく、宮城県内の様々な場所へ出向き、写真や動画を撮影。まつり開催に向けて市民を盛り上げながら、まちの身近な風景に溶け込む七夕飾りを発信してきました。高橋さんは「夏の風物詩として、仙台七夕まつりをもっとみんなで楽しんで盛り上げたい。また、宮城の良いところを紹介することで、沢山のの人に訪れてもらえたら嬉しい」と話します。



会いに来る七夕飾り



Facebook



Instagram



Twitter



活動を始める一歩を応援します。

荒浜で鎮魂の打ち上げ花火を開催する若者を応援しよう！

若林区荒浜地区の伝統行事「荒浜灯籠流し」では、2年前から締めくりに花火を打ち上げています。打ち上げ花火の発起人は、東日本大震災時、地元の中学3年生だった末永新さんです。「災害危険区域となり荒浜を離れてしまった人たちが毎年集まるきっかけにしたい」と奮闘しています。今年は東日本大震災から10年。荒浜の犠牲者192人と同じ数の花火を打ち上げます。若い世代の、ふるさとを想う心を繋ぐ取り組みに寄付で応援しませんか？

<ご寄付の受付先口座> 銀行名:ゆうちょ銀行八八店 / 店番:818 / 口座番号:普通4582448 / 口座名:荒浜打ち上げ花火実行委員会 <荒浜打ち上げ花火> 2021年8月21日(土) 9:30 ~



撮影者:島山雄豪

◀ 荒浜灯籠流しの情報はこちら

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 8月11日(水)、25日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者:特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年8月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

